



秀峰 駒ヶ岳を眺む

夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島
 夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島
 夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島
 夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島夕陽渡島

NO. 137

平成31年3月1日

夕陽会渡島支部

事務局

北斗市・久根別小学校



夕陽 とこしえに

夕陽会渡島支部

副支部長 山内 淳 禎

北海道教育大学夕陽会創立百周年記念事業が、皆様のおかげをもちまして無事終わることができました。その源流は、明治九年創立、北海道初の「官立函館小学教科伝習所」として設立され、なんと百四十二年前となります。百年どころではなく、その歴史の重みがひしひしと感じられます。その後、時代の移り変わりや状況に応じて、その名称が変わり現在に至っています。

さて、学生時代を振り返れば、そんな歴史など知ることなく、夕陽記念館に足を踏み入れることもなく、夕陽に関しては四年間をほぼボーッと過ごしてきました。ですから、学生時代での夕陽への関わりは、学生歌を新人生に紹介することや夕陽賛歌が制定される以前の校歌や寮歌、学生歌の録音ぐらいだったと思います。

また、卒業後、初任校が網走管内だったためしばらくは夕陽会とは離れてしまいました。そんな西も東もよくわからない土地へ赴任した不安だらけの私に、「夕陽会網走連合」の大先輩方から声をかけていただいたことがありました。こんな遠方にも先輩方がいたことに驚くと同時に夕陽の絆の深さに感心したものでした。

これから予測困難な時代を迎えようとしています。これまで多くの諸先輩方が培ってきた、母校の建学の精神「土地墾闢・人民蕃殖」を基に、絆を一層深め、これからは新しいことに果敢にチャレンジする気概をもった夕陽会であることを願っています。

ご勇退される 方々より



袖振り合うも多生の縁



七飯町立軍川小学校
朝倉 憲昭

教員になってから、どれほど多くの人たちとの出会いがあったことだろう。子どもたち、職員、保護者、地域の方々、関係機関の方々。三十八年間、出会いと別れを繰り返しながら、多くの助言をいただき、時には叱咤激励され、時には一緒に涙し、時には大いに笑い、人々の機微に触れながら、幸せな教職生活を続けてくることができた。多くの方々との出会いがあったからこそ、今の私がある。退職後も、気持ちは現役、北海道の、日本の教育の応援団として、多生の縁に報いたい。充実した一日の終わり、希望溢れる明日への希望を告げる『夕陽』よ、永遠であれ。



ありがとうございました



福島町立福島小学校
飯田 典紀

昭和五十六年四月に教員生活が始まりました。児童理解の方法や学習・生徒指導の原理原則などがつかめていないために、四苦八苦の毎日でした。先輩諸氏の「教師らしい姿」に近づこうと奮闘する中で、職場の同僚からの助言が、とても有りがたいものでした。

また、夕陽会の支会総会・懇親会などでは、同窓という特別な雰囲気から肩から自然と力が抜け、日常のたわいもない話から教育方法まで、硬軟入り混じった話に楽しい一時を過ごし、元気をいただいたものです。ふり返ると、同僚や夕陽会の同窓、保護者や地域の皆様、そして何よりも子どもたちに教えられ、助けられ、励まされてきた教職生活だったと思います。ありがとうございました。

「夕陽」とこしえに



七飯町立七重小学校
工藤 達也

私の初任からの二校は、函館盲学校と函館聾学校でした。その両校とも専門教員の養成大学が道内に無かったため、いろいろな大学出身の教員が集まっていました。ですから、ほぼ十年間、夕陽会をそれほど意識することなく過ごし、全く名ばかりの会員でした。

そんな私も、小学校に異動してから、夕陽会の存在の大きさを知ることになりました。特に、初めて他管の檜山管内今金町に赴任した時には、管内・町内の同窓の絆を改めて感じたものでした。その同窓の懇親会の冒頭で必ず歌われる「夕陽賛歌」の知性と気品の中にも漂う「凜とした」力強さが私は好きで、歌うたびに励まされています。結びに、今までお世話になりました皆様に感謝申し上げますとともに、母校のこしえの発展をお祈り申し上げます。

ありがとうございました



七飯町立藤城小学校

竹嶋 充

昭和五十六年四月、網走管内斜里町立斜里小学校を振り出しに私の教職人生がスタートしました。以来、三十八年間で二管内・九市町において、学校・社会教育行政の十二か所の現場で勤務させていただきました。この間、夕陽会の皆様には、行く先々で大変お世話になり感謝に堪えません。初任の網走支部では、少ない会員構成でしたが、諸先輩から温かい声をかけていただきました。渡島支部では、市や町ごとの支会で同窓の絆を確かめることができました。そして、平成二十六年には渡島支部幹事長を仰せつかり、管内会員の皆様と広く繋がりを深めることができたことが、大きな思い出として残っています。退職を迎えるにあたり、三十八年間、私の成長を支えてくださった皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

ありがとうございました



本古内町立本古内小学校

幕田 真二

昭和五十六年四月、根室市街から納沙布岬へ約10kmの根室市立共和小学校が初任校でした。何もわからず慌ただしく過ぎる日々でしたが、近隣小学校の教頭先生より夕陽会根室支部総会のお誘いを受け参加させていただきました。いただいたのが、夕陽会との出会いでした。初めての土地の生活で心細く思っていた時でしたから、夕陽会諸先輩の絆の強さを感じたのを覚えています。以来、後志・渡島・檜山と四管内七市町十校の異動でしたが、赴任先の支部・支会の総会・懇親会には、必ず参加するよう努めました。多く同窓の方々との出会いは私の財産となり、様々な場面でご支援いただき、無事に退職を迎えることができることに感謝申し上げます。同窓の皆様の益々のご活躍とご多幸を心よりお祈りいたします。ありがとうございました。

勇退者激励感謝の会



会務中間報告

〔平成30年度〕

5月12日(土)

平成30年度支部総会・大懇親会
(新会員歓迎会)を開催する
(ホテル法華クラブ函館 参加者98名)

18日(金)

八雲支会総会・懇親会に出席する
(本部・藤川会長 参加者98名)

25日(金)

支部・白石幹事長
第3回本部役員会に出席する
(附属小 幕田支部長・白石幹事長)

6月8日(金)

夕陽会創立100周年記念式典・
祝賀会関係者打ち合わせ会議に
出席する(附属小 白石幹事長)
夕陽会創立100周年祝賀会
渡島支部協力者名簿を本部に送付
第1回支部役員会議案内を発送
する

22日(金)

夕陽会創立100周年祝賀会準備
作業
(ホテル函館ロイヤル 渡島支部より2名協力)

23日(土)

夕陽会創立100周年式典・祝
賀会
(ホテル函館ロイヤル 渡島支部より8名協力)

24日(日)

松前支会懇親会を開催する
(祝賀会終了後)
夕陽会創立100周年記念講演・
ホームカミングデー
(教育大 渡島支部より2名協力)

29日(金)

鹿部支会総会・懇親会に出席する
(本部・藤川会長 支部・山内副支部長)

7月2日(月)

知内支会総会・懇親会に出席する
(本部・五十嵐副幹事長 支部・工藤監査)
第1回支会会長・幹事長会議の案内
を発送する
第1回支部役員会議を開催する
(久根別小学校)

6日(金)

七飯支会総会・懇親会に出席する
(本部・藤川会長 支部・幕田支部長)

10日(火)

北斗支会総会・懇親会に出席する
(本部・藤川会長 支部・幕田支部長)
福島支会総会・懇親会に出席する
(本部・天野副会長 支部・渡邊副幹事長)

12日(木)

森支会総会・懇親会に出席する
(本部・藤川会長 支部・小笠原副支部長)
第1回支会会長・幹事長会議を開催
する
(大中山コモン 本部より藤川会長ご臨席)

13日(金)

夕陽渡島NO.135を発行
本古内支会総会・懇親会に出席する
(本部・藤川会長 支部・佐々木監査)

19日(木)

長万部支会総会に出席する
(支部・山内副支部長 本部に管理職・指導主事候補等
の連絡をする
高山大地会員(日19卒・大沼小)
にご結婚の祝電を送る

31日(火)

夕陽会管理職名簿を各支会に配布
100周年記念誌を各支会に5部
配布
平成30年度第1回本部役員会・
100周年実行委員会解散総会
に出席する
(幕田支部長・白石幹事長)
北海道通信「北海道教育の日」
広告料を振り込む
夕陽渡島NO.136号を発行する
平成30年度「勇退者激励感謝の会」
の案内を発送する
第2回支会会長・幹事長会議の案内
を発送する
昨年度勇退者終身会員未加入の
方々に加入の案内を送付する
横内美嗣様(終身会員)のご逝去
(8月18日)の連絡をいただき
香典を届ける
平成30年度「勇退者激励感謝の会」
の参加者の集約を終える
第2回支部役員会を開催する
(久根別小)
平成30年度「勇退者激励感謝の会」
の各種依頼を発送する
第2回支会会長・幹事長会議を開
催する
(ホテル法華クラブ函館 本部より藤川会長ご臨席)

8月6日(月)

10月30日(火)

11月12日(月)

12月1日(土)

13日(木)

26日(木)

28日(金)

1月21日(月)

2月9日(土)

3月1日(金)

終身会員の皆様へ

「平成三十一年度 渡島支部
総会・大懇親会」のお知らせ
(新会員歓迎会を兼ねる)
◎五月十一日(土)
総 会：午後二時三十分から
大懇親会：午後五時から
◎会場 ホテル法華クラブ函館
◎会費(終身会員) 六千円
◎申し込み締め切り
三月二十五日(月)
◎申し込み方法
同封の葉書にて

あ と が き

「ご勇退される皆様の特集号、
『夕陽渡島』第百二十七号をお
届けいたします。お忙しい中にも
かわらずご寄稿いただいた皆
様に、心より感謝申し上げます。
また、会員の皆様のご協力に
より、本年度の『夕陽渡島』を予
定通り発行することができまし
た。ありがとうございます。
次年度も夕陽会渡島支部の
活動にご理解とご支援を賜りま
すようお願い申し上げます。